

形 L43-3□2
ポンプキット
部品交換要領書

本部品交換要領書は下記メンテナンスキットの品番に対するものです。
お手元のメンテナンスキットの品番が、下表内にあることを確認ください。

メンテナンスキットの品番
MK0675、MK0676、MK0677、MK0678、MK0679、MK0680

[ご注意]

ご注文・ご使用に際しては下記 URL により「ご注文・ご使用に際してのご承認事項」を必ず読んでいただきたくお願い申し上げます。

<https://atc.azbil.com/jp/product/cp/order.html>

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>


2013年4月1日、TACO株式会社はアズビル TACO 株式会社へ社名を変更いたしました。
東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL: 03-3936-2311


安全上のご注意（必ずお守りください）

本製品は高い品質と信頼性を有していますが、万が一、当製品が故障した場合でも、人身事故や火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないよう、お客さまの機械・装置において安全を確保されるようお願いいたします。


また、お使いになる方や、他の方への危害、財産への損害を未然に防止するためにお守りいただくことを、次のように説明しています。本文中の注意事項についても良くお読みのうえ、正しくお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。


■お守りいただく内容を、次の記号で説明しています。

 実行していただく「指示」内容です。


警告

 交換作業は、電源を遮断してから行う。
感電の恐れがあります。

 交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

 作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

注意

 交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

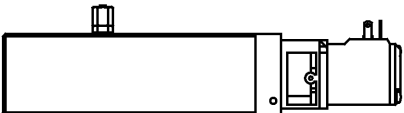
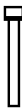
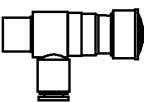
《作業開始前》

⚠ 警告	
❗	交換作業は、電源を遮断してから行う。 感電の恐れがあります。
❗	交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

⚠ 注意	
❗	交換作業は電源遮断後、ソレノイドの表面温度が下がってから行う。

※注意 作業開始前に、対象ユニットの設定圧力を記録してください。
分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

同梱物の確認

① x 1 式	② x 2 本	③ x 1 個
		
ポンプアセンブリ	六角穴付ボルト	スピードコントローラ

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2
スパナ 対辺 7mm、対辺 17mm
六角レンチ 対辺 6mm

《分解手順》(図 1)

1. ポンプアセンブリに供給される油を排出する

- 1-1. メンテナンス用オイルストップバルブを閉じ、空気抜き用ストップバルブを開きます。
- 1-2. 空気抜き用ストップバルブの下にある沈みプラグを外し、ポンプに供給される油を排出します。
排出後、沈みプラグにシール剤またはシールテープを施してねじ込んでおきます。

2. 電線の取り外し

ポンプアセンブリ上部の電磁弁の DIN ソケットを固定している十字穴付小ねじをゆるめ、DIN ソケットとガスケットを取り外します。

注意 取り外した DIN ソケットとガスケットはポンプ交換後に使用します。ガスケットの紛失に注意してください。

複数のポンプを同時に交換する場合、再取り付け時の間違い防止のため各 DIN ソケットに印を付けておきます。

3. チューブの取り外し

ポンプアセンブリに接続されているエアチューブとオイルチューブを取り外します。

エアチューブは、継手の解放リングを押しこみながらチューブを抜き取ります。

オイルチューブは、継手のナットをゆるめ、チューブを抜き取ります。

4. ポンプアセンブリの取り外し

ポンプアセンブリを固定している 2 本の六角穴付ボルトをゆるめポンプアセンブリを取り外します。

取付相手面に O リング 3 本が残っていることを確認してください。

※ 取り外したポンプアセンブリ、六角穴付ボルトは使用しません。

産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》(図 1)

1. スピードコントローラの取付け

ポンプアセンブリ①にスピードコントローラ③をねじ込みます。

2. ポンプアセンブリの取付け

ポンプアセンブリの取付相手面に 3 つの O リングがあることを確認し、2 本の六角穴付ボルト②で固定します。

3. チューブの取付け

分解手順 3 で取り外したエアチューブとオイルチューブを継手に接続します。

エアチューブは継手に差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。

オイルチューブは継手に差し込んだ後、ナットを締め付けて固定します。

4. 電線の取付け

分解手順 2 で取り外した DIN ソケットとガスケットをポンプアセンブリに取り付け、十字穴付小ねじで固定します。

5. ポンプアセンブリへの油の供給

5-1. レベルゲージで油量を確認しながらメンテナンス用オイルストップバルブを開きます。

5-2. レベルゲージで示される油量の位置が下がり、止まったら、空気抜き用ストップバルブを閉じます。

《交換後の試験運転》



警告



作業終了後、取付ねじの緩みがないことを確認する。

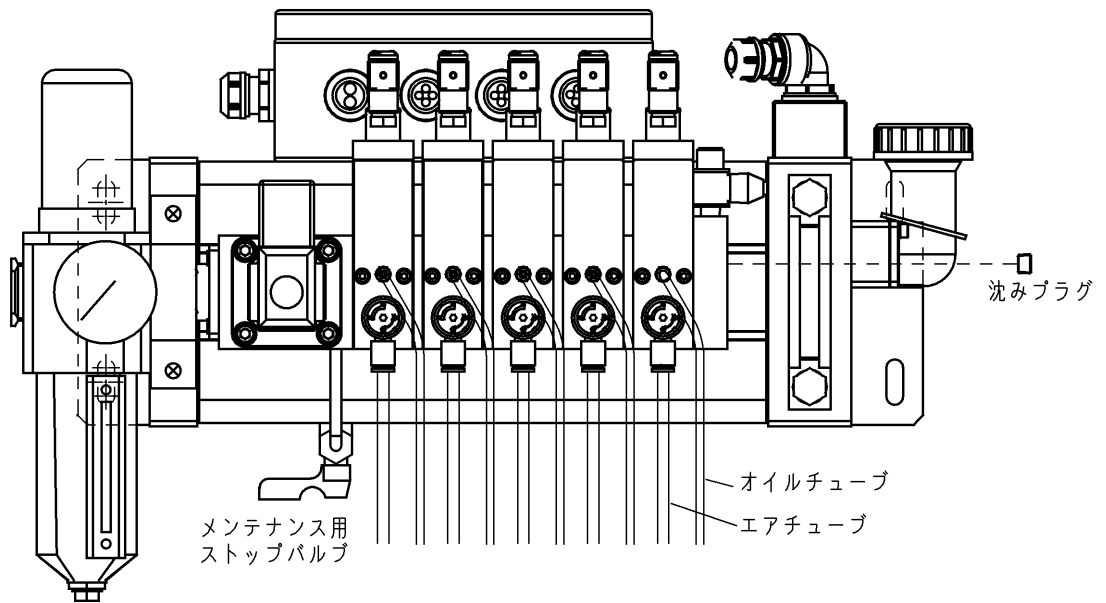
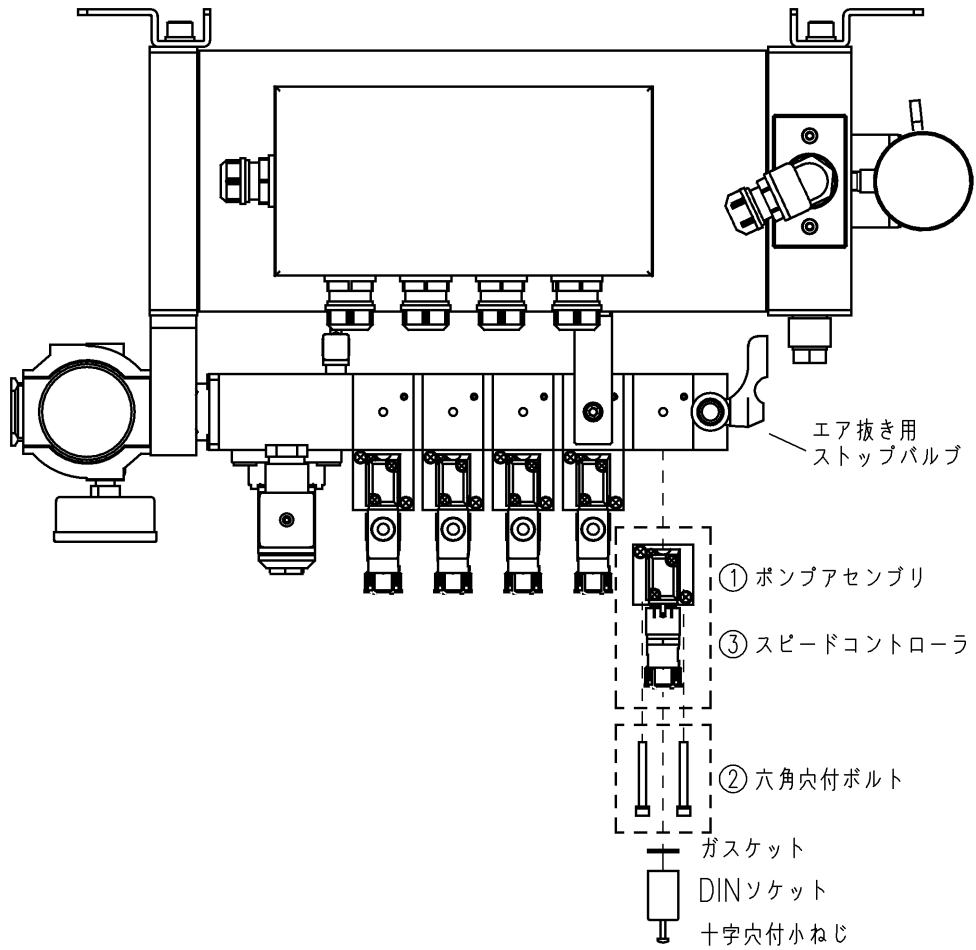
電源、圧力を復帰する前に、取り付けたボルトにゆるみがないことを確認します。

確認後、電源、圧力を復帰し装置を起動します。

この際、下記項目を確認してください。

1. エア漏れの有無
 - ・ポンプアセンブリの取付面からエア漏れが無いこと。
2. 電磁弁の作動状態
 - ・電磁弁の駆動信号に対し、正しく作動すること。

図 1



-MEMO-
